



# 荒川区国際交流協会 事務局だより

2022年  
9月号

2022年9月5日発行

編集・発行 荒川区国際交流協会事務局（荒川区役所3階）

〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 荒川区役所地域文化スポーツ部 文化交流推進課内

HP <http://www.arakawa-kokusai.com>

E-mail: [kokusai@city.arakawa.tokyo.jp](mailto:kokusai@city.arakawa.tokyo.jp) Tel:3802-3798 Fax:3802-4769

## 協会事業

### ～日本語教室ボランティア養成講座(前期)～

日本語教室ボランティア養成講座前期が8月23日(火)から再開しました。

全18回の講座の内、13回が前期で終了します。残りの5回は12月の後期となります。

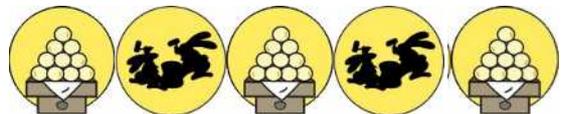
また日本語教室2学期が、9月8日(木)から開始となります。現在養成講座を受講している皆さまにも、実際にボランティア活動をしていただく予定です。

2学期の教室では昼教室25名・夜教室20名の受講生を募集し、多くの申込の結果、定員を満たし切となりました。

外国人の方々の日本語を学びたいニーズや意欲が高く、先生方やボランティアの皆様と連携しながら、事務局としても最大限の運営に努めます。



## 国際交流 ハイク ～参加者募集～



～新しくなったあらかわ遊園で、楽しみましょう！～

**日 程** 10月10日(月・祝)

**場 所** あらかわ遊園

**時 間** 午前10時～午後2時30分(予定)

**参加費** 1,200円(一般) 1,000円(会員価格)  
200円(小学生) 無料(未就学児(3歳以上))

**対象者** 荒川区在住、在勤、在学の方 参加者の子ども(3歳以上)も参加可能

**行 程** 集合写真、チケット配付 乗り物 昼食 ゲーム・クイズ 解散

**募集人数** 30名(外国人15名・日本人15名)予定

**申込方法** 9月22日(木)までに、住所・名前・年齢・電話番号をご記入の上、協会にメールでお申込下さい。

申込が募集人数を超えた時は、抽選になります。

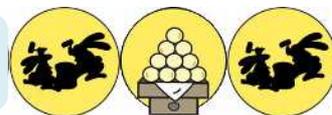
詳しくは、QRコードからチラシをご覧ください。



<ハイク チラシ>

## お知らせ

## 日本語サロン ボランティア募集

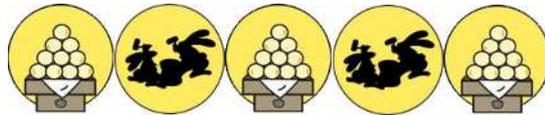


日本語サロンについては各サロンボランティア代表者様と相談をし、休止をしていますが、引き続き新規ボランティア様の募集をしております。

サロン再開時に、まずは見学からサロンにご参加いただけるように調整いたします。

ご興味のある方は、協会までお気軽にお電話やメールをして下さい。

## 日唄親善リサイタルを中止します



オーストリア大使館が推薦する演奏者を招致し、区内でコンサートを行うリサイタルですが、日唄文化協会と調整した結果、新型コロナの影響でアーティストをウィーンから招致するのが難しく、令和4年度の日唄親善リサイタルは、中止することと決定いたしました。

## 区の事業

## 松尾芭蕉・奥の細道ゆかりの都市交流ツアー



～荒川区民の方限定 1泊2日バスツアー～

**日 程** 令和4年10月15日(土)、16日(日) 1泊2日

**参加費** 1人24,000円

集合場所から解散場所までの交通費、宿泊費、食事4回(朝1回、昼2回、夜1回)、体験費、入館料、旅行保険料を含む

**募 集** 区内在住の18歳以上の方 抽選で12名様

4階程度の階段の昇降に支障のない方

18歳未満の方はお申しいただけません。

新型コロナウイルスの影響により、定員数が変更となる場合がございます。

お申しいただくには、「3回以上の新型コロナウイルスワクチン接種」

または「陰性証明」が必要となります。

**申込期限** 令和4年9月14日(水)

<大垣市観光協会>

**申込方法** 大垣観光協会 HP 内特設ページから申込。右のQRコードをスマートフォンで読み込んで下さい。



**申込先・問合せ先** 大垣観光協会 0584-77-1535

(岐阜県大垣市船町2丁目26番地1 奥の細道むすびの地記念館内)

事務局だよりを e-mail で配信します！

ぜひ、ご利用ください！

メール配信の方には、事務局だよりをカラーでご覧いただけます。是非ご登録ください。詳しくは事務局へご連絡ください。e-mail : kokusai@city.arakawa.tokyo.jp

## 編集後記

皆さまもご存じのとおり、8月下旬に政府から新型コロナにおける水際対策の緩和について、報道がありました。一定の条件を満たすことによる、日本への入国時「陰性証明書」の免除や1日あたりの入国者制限を2万人から大幅に引き上げることなどが報道されています。国際交流協会として、新たに入国する外国人の方々に対して、更なる支援の向上に努めたいと思います。(堀川)